

鬼無里フットパスによるまちづくり事業

取組に至る背景・事業の目的

鬼無里地域の観光事業振興を目的として、誘客・宣伝に努めるとともに、観光資源の保護と調和のある開発整備促進のため、次の事項について取り組む。

- ・観光資源の保護、保存、開発及び利用促進
- ・観光事業に対する調査、研究
- ・観光客の誘致、宣伝
- ・名産、土産品等の開発と販売促進
- ・観光情報の収集、伝達及び会員相互の連絡、協調

事業内容

身近な地域資源を活用した新たな観光ツールとして、鬼無里フットパスを導入。住民参加のワークショップでの検討を経て、鬼女紅葉伝説ゆかりの地をめぐる「谷の都コース」を開設。

- 鬼無里フットパスフォーラム（参加 33 人）
6/4 開催、講演会「フットパスによるまちづくり」
- コースづくりワークショップ（参加延べ 114 人）
6～10 月に計 5 回開催、9/2 モニターウォーク実施
- フットパスウォーキングイベント（参加 18 人）
10/21 開催、住民のおもてなし（漬け物、煮豆など）
- 研修会（参加 20 人）
- 案内マップ作成、案内板・標柱の設置



【活動の様子】

事業効果

- ① ワークショップ参加者から、コースづくりで地域や住民を知り、地域への愛着が深まったという意見が寄せられた。住民もフットパスを理解し、イベント時のおもてなし企画や、除草など集落の維持管理作業などまちづくり実践者が増加した（約 150 人）。
- ② フォーラム、ワークショップ、イベント、おもてなし企画、維持管理作業などへの参加者や観光客など、関係人口が増加した（延べ約 230 人）。
- ③ 集落の除草・清掃など環境美化、休耕地での作物栽培再開など里山景観保全が進んだ（総延長 L=4.85km）。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

身近な地域資源を活用し鬼無里地区の課題解決につながる取組みとして、今後もフットパス事業を活用していく方針。今回整備した「谷の都コース」のPRに努め、フットパスをきっかけに多くの人に鬼無里を知ってもらおう。また、平成 30 年度は白髭神社周辺で2つ目のコースづくりに取り組む。将来的には地区内にいくつものフットパスコースをつくり、地域づくりにつなげていきたい。

【選定のポイント】

住民参加のワークショップの開催・検討を経て、ウォーキングコースを新設し、それを活かした鬼無里フットパスフォーラムや、地域住民がおもてなしで参画したウォーキングイベント等が実施され、鬼無里への関係人口を増加させる効果があった。また、集落の除草や休耕地での作物栽培開始など里山の景観整備も進むなど波及効果をもたらした。

団体名	鬼無里観光振興会（長野市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	長野市鬼無里日影 2750-1 026-256-3188	事業費	1,988,629円
		支援金額	1,532,000円